

経済人 ひとりごと

エックス線や超音波で構造物内部の劣化などを調べる「非破壊検査」を手掛けて、三十二年になる。「見えない安全を、われわれが守り抜く」という志を持ち、経営を続けてきたものだ。

朝礼では、五項目の「朝の誓い」を全員で唱和している。一番目に唱和するのが「志を高く持ち、自分を磨く」である。「社員にも自分で仕事をやり遂げる高い志、強い思い、執念を持ち続けて欲しい。その願がかげず」。

高校を卒業して八年間、大阪、富山の鉄工所で機械設計や営業などに携わり、満

◆富山検査(富山市) 1976年設立。ビル、橋梁、鉄道など大型構造物の非破壊検査、診断、計測。資本金1000万円。2007年3月期の売上高7億円。

高見 貞徳氏

富山検査会長

見えない安全 守り抜く

を持って独立した。自宅の一室に、製図板とドクター一台を備え、機械設計事務所を開業したのである。二十八歳だった。

仕事は確かに面白かった。だが、納期の短い仕事を引き受けて睡眠時間を極端に削り、十日間寝込んだことがあった。その翌年、巨大石油タンクが破裂し、瀬戸内海に重油



が流出する事故があった。「構造物の検査業務には将来性がある」と確信し、市場調

四国霊場八十八カ所巡りを続けているとか？ 13年前から巡り始め、5巡目に入ります。これで延べ5600歩歩きました。



査をした。さらにエックス線検査装置のオペレーターの資格も取得、三十五歳で、富山検査を設立した。

「事業を始める際、分からないことも多かったが、何事もやらなきゃ始まらない。自分の経験から社員には『失敗を恐れず、挑戦せよ』と言っています」

生き生き働く

経営者は、社員の人生設計を実現するための環境をつくり、会社を永続させる責務を負っている。「社員が定年まで生き生きと働ける会社になりたい」。これが願いです。

社員には「人や社会に対する感謝の心が大事」と言っている。

北陸経済

たかみ・さだのり 富山市出身。1960年雄峰高卒。大阪、富山の鉄工所勤務を経て69年、機械設計の伸和設計事務所を創業。76年に富山検査を設立、2004年から会長。富山県倫理法人会相談役、67歳。